

# ステップ・アップ



## 病院機能評価の更新を致しました

平成26年9月、下関病院は日本医療機能評価機構の書面・訪問審査を受け、新しい審査体制において病院機能評価の認定をいただき、更新することができました。多くの職員のご努力とご協力に深く感謝いたします。

2月の名古屋での説明会から始まり、週1回の機能評価準備委員会会議。みなかぜ病院（福岡県）・松が丘病院（鳥根県）の2施設の見学等、職員一丸となって取り組んできた8カ月間を振り返ってみたいと思います。

今回の機能評価は「3rdG: Ver1.0」の新評価項目体系に変更された新しいバージョンでしたが、前回との大きな違いは

- ①機能による区分変化がない統合版から病院機能に基づく5区分への変更
- ②評価手法の変更（項目に沿ったケアプロセス評価⇒症例トレース型のケアプロセス評価）でした。

これは我々にとって現場の見直しに繋がると内心ほくそ笑んでいたのですが、蓋を開けてみると更新されていない書類の山積み、議事録の不備等8カ月間では到底間に合いそうにない項目数でした。また、なかなか職員の足並みもそろわず、「ハラハラ、イライラ」の2カ月間でしたが、追い込みに入ってからスピードは素晴らしいものでした。その結果、S（秀でている）2%、A（適切に行われている）84%、B（一定水準に達している）14%、C（一定の水準に達しているとは言えない）0%と高い評価を頂きました。特にS判定は「365日24時間断らない医療の展開」という地域への取り組みに評価をいただき、少し鼻が上向きました。しかし、「喫煙率」については減らすべく指摘も受けております。

3年後の書類審査、5年後の更新審査等、これからも努力の日々ですが、利用者の皆様や職員にとって更に魅力ある病院となるよう改善に取り組んでいく所存です。共に頑張っていきましょう。本当に有難うございました。

（道下 由利子 看護部長）



## 有料老人ホーム山茶花(さざんか) 開設のお知らせ

現在、富任町3丁目の下関病院グラウンド用地に有料老人ホームを建設しています。個室50室、2人部屋2室の54名定員で、日常生活で見守りや介護が必要な高齢者にも対応可能な施設として運営いたします。開設は4月1日を予定しております。入所のご相談や介護職として勤務をご希望の方は遠慮なく下記までお問い合わせ下さい。

●問い合わせ先 医療法人水の木会 下関病院  
 ☎083-258-0338 (担当 藤田・関)



# 学術講演会レポート

すべて地域診療クリニック 3階ホールにて開催

## 「精神医療と地域医療の今後 ～精神科救急と地域医療のビジョンを中心に～」

下関市市立下関保健所 所長 長谷川 学 先生

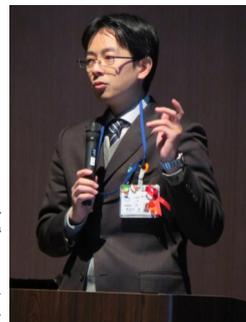
平成 26 年 11 月 17 日

講演では、各都道府県が地域の実情に応じて、医療提供体制の確保を図るために策定される医療計画のこと、精神科救急医療の課題や問題点について、そして今後の医療機能の分化、連携に係る取組みに関するに至るまで、私見を含めて御話して頂きました。



これから地域ごとに医療関係者、行政、住民が話し合っ計画を立てていくなかで、その計画がうまくいかなければ、それは地域の責任となることから、医療機関としても積極的に関わっていく必要があると感じました。また、国の状況として、社会保障財源を増やすことや人の確保は、今後さらに難しくなると仰られ、課題として認識することができました。

(精神保健福祉士 津村 繁晴)



## 「認知症診療における地域連携の取り組み ー熊本モデルを中心にー」

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野 助教 石川 智久先生

平成 26 年 11 月 21 日



日本の人口減少と高齢者増加がそれぞれ深刻な問題として毎日のように報道され、2055年には全人口の約40%を65歳以上の高齢者が占めると予測されています。そうした時代が迫っているにも関わらず、高齢者を取り巻く環境は決して良いとは言えません。

今回研修では、地域で生活する高齢者やその家族に医療と福祉がお互い手を取り、安心した地域生活を送るための濃厚な関わり方や、それらに関わる職種の役割分担、関係者の仲間づくりが欠かせないと教示してもらいました。そこで、この地域も基点となる組織とトリアージを請け負う組織づくりが急務となります。今後は福祉の立場からその組織へ仲間入りし、高齢者にとって安心した地域生活を送れる役割が果たせるように努めていきます。

(富任荘 師長 末永 勝矢)



## 「認知症の理解について ～レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症、MCI（軽度認知障害）を中心に～」

下関病院附属地域診療クリニック 院長 末次 正知 先生

平成 26 年 12 月 5 日

今回、認知症について詳しく勉強する機会をいただき、ありがとうございました。認知症の治療には早期発見・早期介入が有効であり、デイ・ケアは早期介入の役割を担っております。日々の業務において、私たちは重度認知症の方々への最適な関わりを試行錯誤することを繰り返しておりますが、この講演で、認知症のそれぞれのタイプの特徴と対応を先生から教えていただいたことにより、重要な示唆をいただくことができました。



一人ひとりの利用者様とご家族様が、地域での暮らしを今後とも安心して長く続けていただくことができるように、ご家族や施設、他職種、関連機関とも更なる連携を図り、これまで以上に有効的な関わりができるように努力をしてまいります。

(重度認知症デイケア 奥村 みどり)



# 学会参加のご報告

## 第38回 中国四国精神保健学会（平成26年10月24日 海峡メッセ下関）

「広汎性発達障害により社会的引きこもり状態に陥っていた  
成人男性に対して多職種でチームアプローチした一例」 看護師 富田 宜與

「長期入院患者から見た退院可能となった転機の検討」 精神保健福祉士 国本 翔

## 第3回 日本精神科医学会学術大会（平成26年10月9～10日 名古屋国際会議場）

「長期入院中の統合失調症患者における退院困難要因の検討  
～依存性と自己効力感の関連について～」 看護師 松本 大輔

「長期入所者の対処支援  
～家族の不安を解消することで在宅復帰に至った事例～」 介護福祉士 金平 健一

## 第22回 日本精神科救急学会学術総会（平成26年9月5～6日 旭川グランドホテル）

「精神科救急病棟における看護師のストレス要因の明確化  
—自由記述調査を通して—」 看護師 山縣 悠太

「急性期治療病棟において認知症患者の早期退院を困難にする要因の検討」 看護師 横田 聡美



第18回 下関病院・下関病院附属地域診療クリニック

## ふれあいフェスティバル

を開催しました。



昨年、11月1日に当院クリニックにてふれあいフェスティバルを開催させていただきました。地域の方々との交流を目的としていました。全バザーが閉会前に完売しておりとても好評で、みそら保育園の演奏会に至っては、園児の皆さんが夏休み中から練習をしていただいていたようで、観覧された方々より「感動した。」「凄かった。」との声があり、みなさんに楽しんでいただけたのではないかと思います。河野院長の講演会では認知症患者医療センター開設に伴い認知症について講義をしていただきましたが、「とても丁寧に説明をしていただけたので解りやすかった。」との声が多く聞かれました。

当院のふれあいフェスティバルは地域の皆様と触れ合う機会、交流を深める意味でも貴重な行事となっております。今年も多くの地域の方々に来場していただき、目的が果たせたのではないかと思います。

（ふれあいフェスティバル実行委員長 老年期病棟 藤野 義和）

# 行事報告

## クリスマス会

12月19日（金）少し早めの時期の開催となりましたが毎年恒例のクリスマス会を実施しました。今回も各病棟の患者さんが練習に練習を重ねた合唱に加え、託児所の子供たちによる、可愛いダンスが行われました。素敵な衣装や振り付けなど、普段とは違った皆さんの姿を見ることができ、楽しい時間を過ごすことができました。

（作業療法士 近藤 圭佑）



## つなげよう！スタッフのわ

スタッフでつなげる、趣味のはなし。

連載  
第十六回

鍛冶 理奈 管理栄養士

私の趣味は「読書」で、村上春樹がとても好きです。お気に入り「風の歌を聴け」と「ノルウェイの森」。作品には独特なリズム感と乾いたユーモアがあり、読み終わった頃には唯一無二の村上ワールドにはまっています。そのため、出先などで無性に読みたくなり、その場で購入することもしばしば...。気づけば同じ本が数冊あります。読書が好きな方、面白い本があればぜひ教えてください！

次回は 鈴木 精神保健福祉士 です。

## 冬まつり(餅つき)

12月26日（金）午前に冬祭り（餅つき）を開催しました。この時期は毎年降雪などで悪天候となることが多いのですが、今年は晴天に恵まれ、たくさんの患者さんが参加されました。

中でも託児所のお子さんたちが職員とともに掛け声を出しながら、餅つきを行う場面は印象に残りました。今回のお餅は蒸し時間を長めにしたため、柔らかく美味しいと評判になりました。今後も患者さんに向けて、季節ごとの慣習行事の機会・場面の提供を図っていきたいと思います。

（作業療法士 田名橋 佳伸）



## 下関病院 広報委員会

山口県下関市富任町6丁目18番18号

TEL: 083-258-0338

FAX: 083-259-8876

ホームページ: <http://www.mizunoki.jp>

## 編集後記

あけましておめでとうございます。昨年、病院機能評価の審査が終わり、新年最初の今号で無事認定のご報告ができたことを大変うれしく思います。

4月には有料老人ホームのオープンも控え、昨年が増えて多様な話題をお届けしていく所存です。どうぞご期待ください！

（広報委員 山藤 彩）